

赤堀小の窓

教育目標

やる気：意欲的な子ども

思いやり：協力し合う子ども

ねばり：最後までやりぬく子ども

「ウェルビーイング」と「エージェンシー」

学校は、国や県・市が目指す学校教育の在り方を踏まえて、学校の独自性も発揮しながら、日々の教育活動を行っています。国や県・市が目指す学校教育の資料等を見ていくと、キーとなるワードに【ウェルビーイング】や【エージェンシー】があります。これらのワードは、「自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い…」や「ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自らの学びをつくり…」のように表記されています。【ウェルビーイング】という言葉調べてみると、「well(よい)と being(状態)を組み合わせた言葉で、日本語では「幸福」「充実感」「健康」などの言葉で表現されます。」とありました。【エージェンシー】という言葉調べてみると、「ある行動に伴う働きや力を意味する。」とありました。そして、エージェンシーを馴染みのある言葉に置き換えると「主体性」という言葉に置き換えられるようです。

これらから私なりに解釈し、目指すべき学校の在り方をまとめると、「子供たちが主体的に学んだり活動したりしながら、すべての子供が幸福感や充実感を味わえる学校」をつくっていくことだと考えます。本校では、学校教育目標の具現化に向けて、「笑顔いっぱい、優しさいっぱい、楽しい赤堀小学校」を合い言葉に、よりよい学校づくりをしています。ここでいう「楽しさ」とは、学校でしか味わえない楽しさのことです。具体的には、教科の特性に触れて味わえる楽しさ(学ぶ楽しさ)、目標に向かって努力して成し遂げて得られる楽しさ、仲間と協力して困難を乗り越えて成果を分かち合う楽しさなどのことです。つまり、本校の取組は、国や県・市が目指す学校教育の方向性に合致していると考えています。これからも自信をもって「楽しい赤堀小学校」づくりを推進していこうと思います。

さて、本校の「楽しい赤堀小学校」づくりですが、本年度は、改めて、その基盤となる学級経営を大切にするとところから始めています。具体的には、まず、学級を学び合う学習集団・親和的な集団にしていきたいということです。そこで、本校の先生方には、「まずは、学級の規律やルールを大切に指導してください。」と伝えています。もちろん、子供たちを規律やルールで管理してほしいと言っているわけではありません。規律やルールは自分たちをしぼるものではなく、集団で生活するときお互いが気持ちよく生活するために大切にしていけるとよいものであることに気付かせてほしいと伝えています。



学級開きから二ヶ月が経ち、学級の規律やルールが定着してきました。今日も、どのクラスからも、子供たちが姿勢良く学習し、活発に発言する姿がありました。時計を見て着席し、身の回りを整えて学習が始まるチャイムを待つ姿がありました。真面目で素直、一生懸命に頑張れる子供たちです。これからも、基盤である学級を大切に、しっかりと土台の上に、どんどん楽しい体験を積み上げて、目指す「楽しい赤堀小学校」づくりをしていきたいと思っています。

【3年生の校外学習】

5月30日(金)、3年生がサンデンフォレストに行ってきました。

午前中は、自販機ミュージアムの見学や自販機を製造する工場を見学しました。自販機ミュージアムでは、人々のニーズに合わせて自販機の機能が開発・工夫されてきていることを学びました。工場では、安全に配慮された環境で仕事が分担されていて、効率よく正確に自販機が製造されている様子を学びました。

午後は、「森のかばんづくり」をしました。豊かな自然に囲まれた本施設の中には、様々な植物が生息しています。係の方から提供していただいた葉にインクを塗り、それをかばんの布地に写してオリジナルのかばんを作っていました。様々な形が組み合わせられ、すてきな模様の作品に仕上げることができました。

この学習の中で、感心する場面もありました。係の方が説明している最中に騒がしくなったことに気付いた子供が「静かにして」と声を掛けて静かになったり、整列の列が崩れたことに気付いた子供が「〇〇くん、こっちに並んで」と声を掛けて列を整えたりすることができてきたことです。子供同士で課題に気付き、子供同士で改善しようとしているところが立派です。3年生の担任が規律やルール、マナーを大切に指導してきた成果だと考えます。ひとりひとりのエージェンシーが発揮されて、子供たちは、しっかり成長しています。



【二者面談ではお世話になっています】

二者面談では、大変お世話になっております。放課後の教室では、学級担任と保護者の方が熱心に懇談をしている様子が見られます。二者面談を通して子供の現状を共有し、同じ方向を向いて連携・協力していくことで教育効果を一層高めることができます。この機会をきっかけにして、二者面談後も引き続き学級担任と保護者の方々の連携を継続していただけると幸いです。

なお、5月号でもお伝えしましたように、学級担任よりお子さんの様子を直接お伝えするため、通知表の担任所見欄について一学期は記載せず、この二者面談での懇談に換えさせていただきます。ご理解いただければと思います。



【プール指導開始】

6月になり、各学年のプール指導が開始されます。

5月下旬に6年生がプール掃除してくれたおかげで、とってもきれいなプールで活動できます。6年生の児童のみなさん、ありがとうございました。

プールは、気温や水温などの条件が整っていないと開場できないことがあります。また、近年は、熱すぎて実施できないということもあります。天候に左右される活動ではありますが、学習予定表で実施日を確認し、体調の管理や持ち物等、しっかりと準備ができるようにご家庭でもご指導をお願いいたします。

プールは、子供たちが楽しみにしている活動の一つです。今年度も、安全面の配慮を十分にしながら、子供たちのめあてが達成できるようにプール指導を行っていこうと思います。

